

## アナログも大切に！！

コロナ禍でICT機器の使用が学校生活の中でも一気に進みました。国から子供一人に1台のパソコンが貸与されたからです。新型コロナウイルス感染症になったり、濃厚接触者になったり、コロナが不安でお休み（実際は「出席停止」扱い）したり、ということが多くなり「学習の保障」ということからでした。



子供たちは私たち大人より、使えるようになっていくスピードが速く、コロナ禍の3年間はとても大変ではありましたが、得るものもありました。

しかし、アナログもとても大切です。どんどんデジタル化が進みますが、基本はアナログで培われます。

一緒に考えてみてください。

文章を書くとき、パソコンを使うととても便利です。漢字も勝手に変換してくれます。でも、どうでしょうか。知っているからこそ、正しい漢字に変換できるわけです。まず覚えていないと、たくさんある漢字候補の中から正しい選択ができません。私もパソコンを利用するようになってから手書きすることが少なくなり、どんどん漢字を忘れて自分の手で書けなくなっています。でも、正しい漢字を選択することはできるのです。これは、書けないけれど見たら思い出すからなのでしょう。漢字が書けなくなってくるとメモを取るにしても、漢字が出てこなくて恥ずかしくなることもあります。特に漢字の意味を理解して「書く」ということが大切なのだと思います。

基本は「書くこと」です。



なによりも「書くこと」によって、左右の脳のバランスを整える効果があるそうです。それは私も以前聞いて知っていましたが、何かで脳の複数の領域が同時に活性化され、脳のもっている力も引き出してくれるということを読みました。また、「書くこと」で指先を動かします。指先を動かす

ためにより繊細に脳から指令を出す必要があります、それによって「書くこと」で活発に「思考」し、よい頭の体操となって認知機能を良好に保つことに繋がるのだそうです。

パソコンでも指を動かすけど？と不思議に思いませんか？私も「えっ？」と思いました。手書きの場合は漢字を思い出し、文字として書いて表現する必要があるとのことでしたが、パソコンの場合は簡単な文章であれば脳をあまり使わずに、ある程度の文章は表現ができてしまうとか。

小学生の間だけでも「手書き」にこだわりたいと思います。小学校ではシャープペンシルを使用しないということも同じです。シャープペンシルを使用すると少ない力で文字を書くことができますが、鉛筆だと力が必要になり筆圧がつかます。

だからこそ、小学校ではアナログにもこだわっていきたいと思います。

《6月の行事予定》\*行事に変更がある場合は、随時お知らせします。

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	木	登校指導 セーフティネット	14	水	交通安全教室(1~6年)
2	金	ふれあいお食事会(5・6年参加)	16	金	参観・懇談 学校運営協議会
3	土	子どもセンター(バレーボール教室)	17	土	子どもセンター(剣道教室)
5	月	避難訓練	22	木	語りの森
6	火	社会見学(5年) 尿検査二次	23	金	漢字の博士試験(2~6年) 救命法講習
7	水	尿検査二次(予備)委員会 いじめなくそうデー	26	月	プール開き 移動図書館
8	木	ファミリーあそび プール掃除	27	火	スクールカウンセラー来校
9	金	避難訓練(予備日)	28	水	クラブ
13	火	ALT来校 スクールカウンセラー来校			

《7月の主な予定》

\*1日(土)子どもセンター(将棋教室) \*20日(木)終業式 \*21日(金)個人懇談

《5月11日地域の方々と苗植え》1・2年生・ひまわり学級 さつまいも、すいか、おくら、ピーマン、トマト、きゅうりを地域の方々と一緒に植えました。



地域の皆様

ありがとうございました。

